

第2章 生活環境について

・単純集計結果

単位：％

はじめに、あなたご自身のことについておうかがいします。

問1 あなたの性別は。(あてはまるもの1つに)

回答者総数 = 601

1. 男性	46.3	2. 女性	53.1
		無回答	0.7

問2 あなたの年齢は。(あてはまるもの1つに)

回答者総数 = 601

1. 20～29歳	11.3	4. 50～59歳	25.3
2. 30～39歳	12.8	5. 60～69歳	23.5
3. 40～49歳	14.3	6. 70歳以上	12.3
		無回答	0.5

問3 あなたの職業は。(あてはまるもの1つに)

回答者総数 = 601

1. 農林漁業	2.0	6. 公務員	5.2
2. 自営工業	2.7	7. 学生	2.3
3. 自営商業・サービス業	4.8	8. パート・アルバイト	12.3
4. 自由業	1.2	9. 無職	36.3
5. 会社員	26.8	10. その他	5.3
		無回答	1.2

問4 あなたの家族構成は。(あてはまるもの1つに)

回答者総数 = 601

1. 単身世帯(ひとり暮らし)	5.7	3. 二世帯世帯(親子など)	53.1
2. 一世帯世帯(夫婦のみ、兄弟姉妹のみ)	28.3	4. 三世帯世帯(親と子と孫など)	10.6
		5. その他	1.0
		無回答	1.3

第2章 生活環境について

問5 あなたの佐倉市での居住年数は。(あてはまるもの1つに)

回答者総数 = 601

1 . 5年未満	1.0	3 . 10～20年未満	3.5
2 . 5～10年未満	0.8	4 . 20年以上	94.2
無回答			0.5

問6 あなたのお住まいの地区は。(あてはまるもの1つに)

回答者総数 = 601

1 . 佐倉地区	26.3	5 . 和田地区	2.2
2 . 志津地区	36.9	6 . 弥富地区	3.2
3 . 臼井地区	18.8	7 . 千代田地区	3.3
4 . 根郷地区	8.5		
無回答			0.8

市の環境全般についておうかがいします。

問7 あなたは、次に示す環境要素についてどのように感じていますか。あなたの「身近な生活地域」と「佐倉市全域」に分けてお答えください。(各項目ごとに1つずつ)

【身近な生活地域(徒歩で散策できる程度の範囲)】について

回答者総数 = 601

項目	満足である	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である	どちらともいえない	無回答
ア．自然環境の豊かさ	29.3	49.4	10.1	4.2	5.3	1.7
イ．空気のきれいさ	26.6	51.2	9.8	6.2	4.3	1.8
ウ．まちの静けさ	26.5	47.8	13.5	7.7	3.2	1.5
エ．印旛沼や川の水のきれいさ	2.7	16.0	30.1	37.3	10.8	3.2
オ．水辺の親しみやすさ	6.0	25.1	27.6	22.6	15.0	3.7
カ．生きものとの親しみやすさ	7.8	36.4	22.0	11.5	18.6	3.7
キ．樹木や土との親しみやすさ	18.1	49.3	15.6	5.2	9.3	2.5
ク．景色や景観のよさ	17.5	45.4	18.3	6.2	10.6	2.0
ケ．環境汚染物質からの安全性	4.0	29.8	25.5	17.6	19.5	3.7
コ．まちの清潔さ	6.2	40.6	27.3	13.0	10.6	2.3
サ．犯罪行為からの安全性	3.5	29.8	31.9	17.8	14.3	2.7
シ．消防・救急等緊急時における安全性	12.0	48.8	14.5	5.0	17.5	2.3
ス．自然災害からの安全性	8.7	38.8	19.0	10.1	21.1	2.3
セ．道路交通の安全性	4.2	25.3	33.9	25.3	9.2	2.2
ソ．総合的な満足度	5.5	56.1	20.3	6.0	10.3	1.8

第2章 生活環境について

【佐倉市全域】について

回答者総数 = 601

項目	満足である	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満である	どちらともいえない	無回答
ア．自然環境の豊かさ	22.8	53.4	9.2	2.8	8.2	3.7
イ．空気のきれいさ	17.8	56.7	11.0	2.8	7.8	3.8
ウ．まちの静けさ	15.1	50.9	16.8	4.0	8.8	4.3
エ．印旛沼や川の水のきれいさ	2.2	16.1	30.1	31.8	14.0	5.8
オ．水辺の親しみやすさ	4.2	27.0	27.0	18.5	17.6	5.8
カ．生きものとの親しみやすさ	5.8	34.4	22.6	10.0	21.3	5.8
キ．樹木や土との親しみやすさ	11.6	52.9	14.0	5.7	11.5	4.3
ク．景色や景観のよさ	12.0	53.7	13.8	4.7	11.1	4.7
ケ．環境汚染物質からの安全性	3.5	22.3	27.8	16.6	24.1	5.7
コ．まちの清潔さ	5.7	33.8	27.0	13.0	15.3	5.3
サ．犯罪行為からの安全性	2.7	21.3	31.3	18.6	21.1	5.0
シ．消防・救急等緊急時における安全性	8.8	43.1	17.1	6.0	20.5	4.5
ス．自然災害からの安全性	5.0	30.6	24.3	12.0	23.3	4.8
セ．道路交通の安全性	3.2	21.8	34.6	23.1	13.3	4.0
ソ．総合的な満足度	5.2	45.4	23.6	6.0	15.0	4.8

日頃の環境問題への取り組みについておうかがいします。

問8 環境とは、一人ひとりの主体的な行動により保全されるものです。あなたは日ごろから各種の生活環境に配慮して行動していますか。(各項目ごとに1つずつ)

回答者総数 = 601

項目	常に 行っている	たまに 行っている	行って いない	無回答
ア．野外でゴミを燃やさない	61.2	15.8	20.0	3.0
イ．音を外にださない	60.7	15.3	19.8	4.2
ウ．油をそのまま流さない	68.6	8.0	20.3	3.2
エ．節水に努めている	54.7	31.6	10.6	3.0
オ．主電源を消すなどの節電	45.9	34.3	17.3	2.5
カ．弱めの冷暖房	59.1	27.5	10.3	3.2
キ．太陽エネルギーの利用	9.5	7.5	79.0	4.0
ク．排出抑制・再利用・再資源化に心がける	46.4	37.1	12.3	4.2
ケ．生ごみの減量	50.6	31.4	14.5	3.5
コ．分別によるごみの減量	76.2	14.3	5.7	3.8
サ．ポイ捨てをしない	84.5	2.7	9.5	3.3
シ．ゴミを持ち帰る	77.9	14.6	4.2	3.3
ス．レジ袋をもらわない	21.6	38.8	36.6	3.0
セ．詰め替え商品を優先購入	51.7	33.6	11.1	3.5
ソ．環境に優しい製品を使用している	36.6	47.3	11.6	4.5
タ．地域の美化運動や資源回収に参加	35.9	28.5	32.3	3.3
チ．自然保護活動に参加	5.2	17.6	72.5	4.7
ツ．アイドリングストップ	31.3	22.3	32.4	14.0
テ．公共交通機関を利用する	37.9	40.6	17.0	4.5
ト．低公害車の購入を心がける	27.6	13.3	47.1	12.0
ナ．交通安全活動に参加	9.2	16.1	69.9	4.8
ニ．防犯活動に参加	8.3	18.5	68.7	4.5

印旛沼や谷津田・里山についておうかがいします。

問9 印旛沼を佐倉市のシンボルにふさわしい状態に保つため、市では水質改善や周辺環境の整備などさまざまな取り組みを行っています。あなたは、シンボルとしての印旛沼の役割はどうあるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに)

回答者総数 = 601

1. 自然環境が豊かな印旛沼	76.5	5. 洪水調整の役割としての印旛沼	33.9
2. 水や風景がきれいな印旛沼	71.7	6. 飲料水及び農業や産業・工業用水としての印旛沼	38.1
3. レクリエーションの場としての印旛沼	37.3	7. その他	3.7
4. 植物、鳥、昆虫等の生物の生息地としての印旛沼	72.5	8. 特にない	0.8
		無回答	2.5

問10 佐倉市は、都市近郊にあって良好な自然がまだ多く残されている地域です。その代表的な自然環境のひとつとして「谷津田・里山(谷間の水田と谷の両側の斜面を含めた雑木林)」があり、農地であるとともに多様な動植物の生息の場となっています。

あなたは、この「谷津田・里山」のことを知っていますか。(1つに)

回答者総数 = 601

1. 谷津田・里山のもつ役割など、よく知っている	28.1	2. 聞いたことはあるが、よく知らない	34.8
		3. 知らない(わからない)	35.4
		無回答	1.7

問11 現在、全国的にも貴重な自然資源である「谷津田・里山」が、労働生産性の低さなどを理由に休耕田となり、埋め立てや山林等の開発などで、徐々に失われつつあります。

あなたは、市内で「谷津田・里山」が減少してきていると感じますか。(1つに)

回答者総数 = 601

1. 非常に感じる	27.3	3. まったく感じない	2.8
2. やや感じる	33.9	4. わからない	33.8
		無回答	2.2

問12 市民と行政が一体となって印旛沼や谷津田などの自然環境を保全するため、市では「佐倉市環境基本計画」を策定し、各種の取り組みを行っています。あなたは、佐倉市の貴重な自然資源である「谷津田・里山」を次世代に継承していくために、どのような取り組みが大切だと思いますか。
(あてはまるものすべてに)

回答者総数 = 601

1. 市民が環境に興味関心をもち活動してもらおう場として開放する	46.3
2. 学校などで積極的に環境教育や学習の場に活用してもらおう	56.2
3. 会員制を導入し、所有者とともに維持管理に関わってもらおう	14.0
4. 環境に関する定期的な調査を実施し、現状を把握し市民に周知する	44.1
5. 市で環境管理指針を作り、所有者に対し支援等をし、維持管理をしてもらおう	39.6
6. 所有者と市で協定を結ぶなどし、土地利用を抑制する	32.1
7. あまり関与すべきではない	2.0
8. その他	3.3
9. 特にない	3.7
無回答	3.8

防犯についておうかがいします。

問13 全国的に凶悪事件に加え、窃盗など路上の犯罪や空き巣などの身近な場所での犯罪が増加しています。市においても、地域社会の重要な課題の一つとして治安の維持が取り上げられています。あなたが、現在心配している防犯上の課題はどのようなことですか。(3つまでに)

回答者総数 = 601

1. 身近な場所での犯罪（空き巣など）の増加	74.2
2. 地域の自主的な取り組みに対する関係機関の支援不足	20.1
3. 青少年の犯罪意識の低下による犯罪の増加	64.1
4. 公園や道路上でのひったくりや痴漢行為等の事件の増加	40.6
5. 児童虐待など家庭内の暴力の増加	18.1
6. オレオレ詐欺などの詐欺事件の増加	27.8
7. その他	2.8
8. 特にない	0.7
無回答	2.8

第2章 生活環境について

問14 「自らの地域は自ら守る」という考えのもと、地域の安全を確保するために自主防犯組織（ ）による防犯パトロールの取り組みが市内でも行われています。あなたの地域では、自主防犯組織による活動が行われていますか。（1つに）

回答者総数 = 601

1. 自主防犯組織があり、防犯活動が行われている	18.6
2. 自主防犯組織はないが、住民有志による地域の見回り等は行われている	19.0
3. 自主防犯組織も住民有志による地域の見回り等もない	28.5
4. わからない	29.8
5. その他	1.8
無回答	2.3

「自主防犯組織」とは

町内会・自治会活動の一環としての活動、自主防犯グループ等の活動をしている組織のことです。

問15 地域で取り組む防犯活動について、あなたはどのようにすべきだと思いますか。（1つに）

回答者総数 = 601

1. 近所づきあいなど地域とのかかわりを強くする	50.9
2. 自主防犯組織はないので、住民有志が地域の見回りなどに参加する	5.7
3. 自主防犯組織を立ち上げ、地域の見回りなどを強化する	12.5
4. 自主防犯組織があるので、住民ができる限り協力・参加する	12.3
5. 個人が自己の責任で防犯対策を講じる	12.3
6. その他	2.0
7. 特にない	1.3
無回答	3.0

消防・防災についておうかがいします。

問16 あなたは、普段、自分の生業を持ちながら非常時に備えている消防団組織の活動を知っていますか。（1つに）

回答者総数 = 601

1. 消防団があることや活動内容をよく知っている	35.4
2. 消防団があるのは知っているが活動内容については知らない	56.4
3. 消防団があることを知らない	7.0
無回答	1.2

問17 地域住民によって組織された消防団は消火活動や災害時における救援活動を行うなど、地域において重要な役割を担っています。あなたは、消防団の活動についてどのように感じていますか。

(1つに)

回答者総数 = 601

1. 非常に有益であり、現状を維持すべき	47.4
2. 存在の有益性は認めるが、改善すべき点がある	30.0
3. 必要と思うが、地域によっては不要な地域もある	9.0
4. 地域の消防団は必要ない	2.8
5. その他	1.8
6. 特にない	6.0

無回答 3.0

問18 あなたは、もしもの災害時に備えてどのような対策を行っていますか。

(あてはまるものすべてに)

回答者総数 = 601

1. 防災訓練への参加	16.0	5. 屋内の家具等の転倒防止	24.8
2. 食料など非常用物品の常備	37.6	6. ブロック塀や家屋の補強	8.2
3. 避難場所及び避難ルートの確認	39.9	7. 自主防災組織への参加	3.5
4. 家族・親類等への連絡方法の確認	31.3	8. その他	0.3
		9. 特に備えていない	26.1

無回答 2.2

問19 市では、災害時に機能する、自治会を基本とした自主防災組織の組織化に力をいれています。あなたは、市が災害時に備えて、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。(3つまでに)

回答者総数 = 601

1. 迅速な救援体制の整備(近隣自治体など関係団体等による救援体制)	59.7	6. 食料など非常用物品の確保	47.1
2. 自主防災組織などによる救援活動	9.2	7. 情報伝達手段の確保	36.1
3. 正確な防災マップの作成・配付	20.5	8. 救急医療体制の整備	43.9
4. 安全な避難ルートの確保	20.0	9. ボランティア受け入れ体制の整備	7.0
5. 避難場所の確保・周知	32.3	10. その他	0.7
		11. 特にない	0.2

無回答 2.0

消費者問題についておうかがいします。

問20 市では、次々と発生する消費者問題（食品の安全や食品の表示問題及び架空請求等）に対応するため、消費生活センターを設けて、消費に関する相談の受け付けや啓発事業などを実施しています。あなたは佐倉ミレニアムセンター内に設置している消費生活センターを知っていますか。

（1つに）

回答者総数 = 601

1. 知っている	32.4	2. 知らない	65.2
		無回答	2.3

問21 消費者をサポートするために、特に重要だと思うことは何ですか。（1つに）

回答者総数 = 601

1. 事業者や事業者団体に対し、消費者の安全・取引確保の適正指導を積極的に行うこと	41.8
2. 消費者問題に関する各種講座や出前講座などを市内の各箇所で開催すること	8.8
3. 消費者被害に対処するため消費生活相談をさらに充実させること	30.9
4. 消費者問題に取り組む市民団体の育成や支援の充実を図ること	8.2
5. その他	1.0
6. 特にない	5.0
無回答	4.3

環境に関する活動についておうかがいします。

問22 あなたは、これまでに地域の環境を守る活動に参加したことがありますか。（1つに）

ここでいう環境とは、自然環境の保全やごみ対策などのほか、防災・防犯活動も含みます。

回答者総数 = 601

1. ある	44.1	2. ない	54.9
		無回答	1.0

問22 - 1 問22で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

参加したことがある活動は何ですか。(あてはまるものすべてに)

回答者総数 = 265

1. 自然環境の保全活動	9.4	5. 防犯活動	21.1
2. ごみ減量やリサイクルなどの活動	27.2	6. 交通安全活動	14.3
3. 町内清掃など環境美化活動	84.2	7. その他	0.0
4. 防災活動	20.8		
無回答			0.0

問22 - 2 問22で「2. ない」と答えた方にお聞きします。

参加していない主な理由は何ですか。(1つに)

回答者総数 = 330

1. 活動したいが、自分の考えにあった活動がないから	1.8	
2. 活動したいが、情報がなかったから(きっかけがない)	40.6	
3. 活動に興味・関心がないから	7.9	
4. 環境を守る活動は行政が行うべきと考えるから	9.4	
5. その他	10.0	
6. 特に理由はない	26.7	
無回答		3.6

問23 あなたは、今後、環境イベントや保全活動などに参加したいと思いますか。(1つに)

回答者総数 = 601

1. 積極的に参加したい	3.8	4. 参加したくない	5.7
2. できるかぎり参加したい	50.2	5. わからない	26.8
3. できれば参加したくない	9.7		
無回答			3.8

市民と行政のパートナーシップについておうかがいします。

問24 市では、さまざまな環境施策を展開していくために、市民や事業者との有効的な連携、いわゆるパートナーシップ()をこれからもめざしていく予定です。あなたは、特にどのような分野において、パートナーシップを築きたいと思いますか。(あてはまるものすべてに)

回答者総数 = 601

1. 自然環境の保全活動	43.3	5. 防犯活動	43.8
2. ごみ減量やリサイクルなどの活動	38.1	6. 交通安全活動	22.1
3. 町内清掃など環境美化活動	36.9	7. その他	0.8
4. 防災活動	26.1	8. パートナーシップはできない	7.3
		無回答	3.8

「パートナーシップ」とは
多様な主体が、それぞれ自立しながら互いの立場を理解、尊重しつつ責任を持って分担することです。

問24 - 1 問24で「8. パートナーシップはできない」と答えた方にお聞きします。
その理由は何ですか。(1つに)

回答者総数 = 44

1. 各主体の役割や活動目的に相違があるから	2.3
2. 活動方針等の整合を取るのが面倒・大変そうだから	27.3
3. その他	40.9
4. 特に理由はない	27.3
無回答	2.3

生活環境に関する取り組み全般についておうかがいします。

問25 市では、第3次佐倉市総合計画前期基本計画（計画期間：平成13年度～17年度）に基づき、以下のような取り組みを推進してきました。あなたは、以前と比較してどのように感じますか。

（項目ごとに1つずつ）

回答者総数 = 601

項目	評価					無回答
	よくなった	まあまあよくなった	あまりよくなっていない	よくなっていない	どちらともいえない	
1. 環境に配慮した施策の展開 （環境への負荷低減、環境に関する啓発など）	3.5	29.6	25.8	9.7	22.6	8.8
2. 公害のない快適なまちづくり （公害防止対策など）	3.7	24.5	28.5	10.5	24.6	8.3
3. 自然を守り育てるまちづくり （自然環境の保全、自然を活用した事業の展開など）	4.5	30.9	24.3	10.1	21.5	8.7
4. ごみの減量・資源化を重視した廃棄物処理 （ごみの適正処理やし尿処理の充実など）	10.1	41.6	19.6	9.0	13.1	6.5
5. 安心して暮らせる生活環境 （防犯対策、消費生活相談など）	3.0	23.8	32.8	12.5	20.5	7.5
6. 消防・救急体制の整備・充実 （火災予防対策、救急体制の充実など）	8.7	38.9	16.8	4.3	23.6	7.7
7. 災害に強いまちづくり （災害予防対策など）	3.0	21.0	24.3	11.3	32.6	7.8
8. 安全で快適な交通環境の整備 （交通安全施策など）	2.7	20.0	28.6	18.1	23.1	7.5

第2章 生活環境について

問26 これからの5年間（平成18年度～22年度）において、あなたが特に取り組むべきだと思うのはどれですか。（問25の項目の中から2つまで選んで番号を記入してください。）

回答者総数 = 601

1．環境に配慮した施策の展開（環境への負荷低減、環境に関する啓発など）	13.6
2．公害のない快適なまちづくり（公害防止対策など）	14.3
3．自然を守り育てるまちづくり（自然環境の保全、自然を活用した事業の展開など）	27.3
4．ごみの減量・資源化を重視した廃棄物処理（ごみの適正処理やし尿処理の充実など）	16.0
5．安心して暮らせる生活環境（防犯対策、消費生活相談など）	53.9
6．消防・救急体制の整備・充実（火災予防対策、救急体制の充実など）	10.0
7．災害に強いまちづくり（災害予防対策など）	24.8
8．安全で快適な交通環境の整備（交通安全施策など）	25.8
無回答	6.2

市政に関するご意見やご要望、まちづくりのアイデアなどがございましたら、自由にご記入ください。

自由意見

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の封筒で11月30日（火）までにご投函ください。